

授業科目 ドイツ語 I

【担当教員名】 山田 容子	対象学年	1・2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報		
	開講時期	後期	必修選択	選択		
	単位数	1	時間数	30		
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現
○		○		◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 ・初歩的なドイツ語の文法ならびにコミュニケーションの学習。 ・ドイツ、オーストリア、スイスなどドイツ語圏の文化的諸事情に触れる。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 文法の構造を理解する。 2. 平易なテキストを理解する。 3. 日常的な場面において既習の文法知識やテキストを使ってコミュニケーションをする。 4. 学習項目を総合的に確認し身につける。 5. 文化的な知識を増やす。 6. ドイツ語の学習を通してヨーロッパ諸言語の一般的傾向を知る。						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	ドイツ語はどのような言葉か、ドイツ語のアルファベット			1.2.3	講義・グループタスク	
2	発音と綴りの関係、よく使うあいさつ表現			1.2.3	講義・グループタスク	
3	自己紹介・名乗る			1.2.3	講義・グループタスク	
4	自己紹介・出身地や住所を述べる、規則動詞の人称変化、人称代名詞			1.2.3	講義・グループタスク	
5	他己紹介・規則動詞の人称変化、数詞			1.2.3	講義・グループタスク	
6	自己紹介・専攻学科や学んでいることを述べる、言語や国籍の言い方			5	講義・映像鑑賞	
7	自己紹介・何語を話すか、職業・地位・身分の表記のしかた、曜日・月の表しかた			1.2.3	講義・グループタスク	
8	自己紹介・趣味を述べる、動詞の位置と語順			1.2.3	講義・グループタスク	
9	自己紹介・好きなことを述べる、不規則変化動詞（幹母音の変化）			1.2.3	講義・グループタスク	
10	自己紹介・好きではないことを述べる、否定文の作り方			1.4	講義・グループタスク	
11	名詞の性、冠詞の使い方			4.5	講義・グループタスク	
12	自己紹介・好きな食べ物や飲み物について述べる、好みの程度を表す表現			1.2.3	講義・グループタスク	
13	自己紹介・家族について話す、人を形容する言葉			1.2.3	講義・グループタスク	
14	年齢表現、名詞の複数形			1.2.3	講義・グループタスク	
15	まとめと試験準備			1.2.4	講義・演習	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		CD付き Szenen1 場面で学ぶドイツ語	佐藤 修子、Heike Papenthin、 下田恭子 他	三修社	2015・2,900円+税	
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 コース終了時のテスト、自学・復習の確認、宿題の提出、授業内課題への取り組み、出席、授業態度等を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 継続的な出席、積極的な授業参加、毎回の復習等がぜひ必要。			